

高知県感染症発生動向調査（週報）

2023年 第46週（11月13日～11月19日）

★県内での感染症発生状況

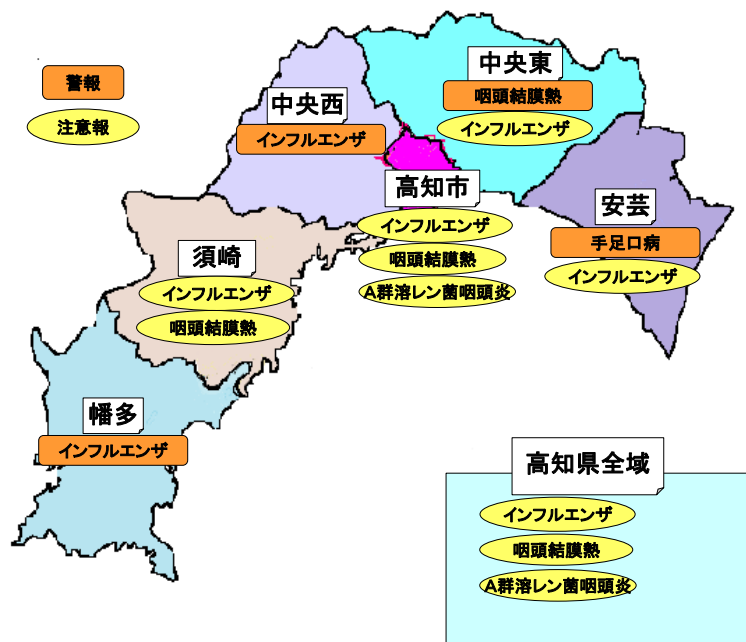
インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	➡	21.34	中央東、須崎で減少していますが、幡多、中央西では警報値を、県全域、高知市、安芸、中央東、須崎では注意報値を超えています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	4.08	須崎で急減していますが、高知市、中央西、中央東で増加し、県全域、高知市では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	➡	2.50	安芸、須崎で急減、幡多で減少していますが、高知市で急増しています。
咽頭結膜熱	⬇	1.88	県全域、中央東、高知市で減少していますが、幡多で急増し、中央東では警報値を、県全域、須崎、高知市では注意報値を超えています。
新型コロナウイルス感染症	⬇	1.20	中央西、幡多、安芸で急減、県全域、中央東、高知市で減少していますが、須崎で増加しています。

<推移の基準>

急増	↑	前週と比較し、2倍以上の場合
増加	↗	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合
横ばい	➡	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合
減少	⬇	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
急減	↓	前週と比較し、0.5倍未満の場合

★地域別感染症発生状況



★感染症予防の基本

感染症は、咳やくしゃみの飛沫によって拡散されます。電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」で感染対策しましょう。

《咳エチケット》

- ・くしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- ・咳やくしゃみが出ている時は、できるだけマスクを着けること。
- ・手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時は、すぐに手を洗うこと。



★県内で注目すべき感染症 ～注意点や予防方法～

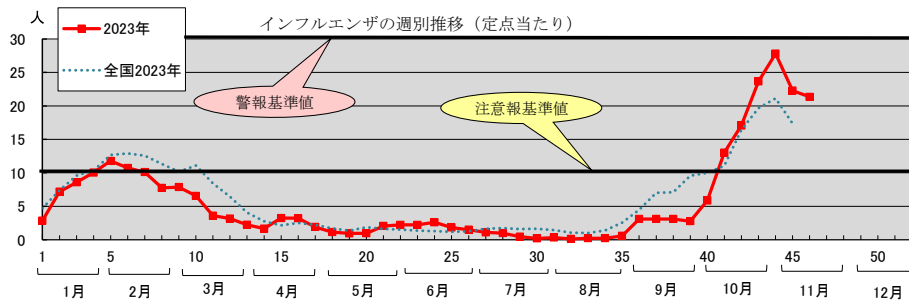
インフルエンザ

インフルエンザは、例年1月～2月頃にピークとなる疾患ですが、すでに県全域で注意報値を超えています。

県内では、今シーズンの始まりである第36週（9月4日～10日）に定点当たり報告数が3.11（報告人数：137人）とインフルエンザの流行の目安とされている1.00を超え、第41週から6週連続で注意報値を超えています。

また、学校等で集団発生による学年閉鎖、学級閉鎖が多数報告されているので注意してください。

全国でも、令和4年第51週（12月19日～25日）に流行期入りした後、1.00を下回ることはなく増加し、第41週から5週連続で注意報値を超えています。



学校等における集団発生

※学校等欠席者・感染症情報システム

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計
休校	第46週	-	-	-	-	-	-	-
	累計	-	1	-	1	2	-	4
学年閉鎖	第46週	3	1	1	1	-	2	8
	累計	7	9	6	6	3	18	49
学級閉鎖	第46週	-	1	6	1	-	1	9
	累計	-	10	56	5	1	3	75

インフルエンザ定点医療機関での迅速診断では、インフルエンザA型が756件（99.9%）、インフルエンザB型が1件（0.1%）を占めました。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、直近の5週間（2023年第41週～第45週）ではA(H3)の検出割合が最も多く55.8%、次いでA(H1)pdm09が43.2%、Bビクトリア系統が0.7%、B系統不明が0.4%でした。A(H3)とA(H1)pdm09がともに多く検出されており、複数回感染することもあるので注意してください。

●ワクチン接種を希望される方へ

*接種に当たっては、あらかじめ医療機関に電話等で予約をお願いします。

*医療機関訪問時は、マスクの適切な着用などの感染対策の徹底をお願いします。

*インフルエンザワクチンは重症化予防などの効果がある一方で、発病を必ず防ぐわけではなく、接種時の体調などによって副反応が生じる場合があります。医師と相談のうえ接種いただくとともに、接種後に体調に異変が生じた場合は、医療機関にご相談ください。

*インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは同日接種が可能です。ただし、新型コロナワクチンは前回接種からの間隔等の接種要件があるため、必ず同日に接種できるわけではありません。

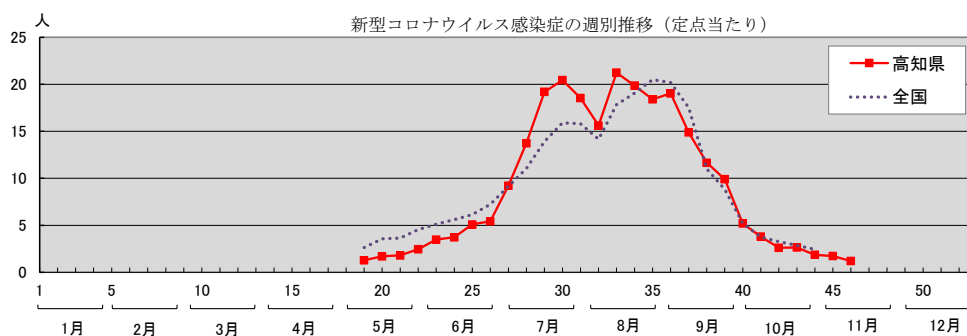
●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでないとして規定されています。

新型コロナウイルス感染症

●定点医療機関からの報告数

週数	新規感染者数	定点当たり感染者数
第42週 10/16～10/22	115	2.61
第43週 10/23～10/29	116	2.64
第44週 10/30～11/5	82	1.86
第45週 11/6～11/12	76	1.73
第46週 11/13～11/19	53	1.20



・新型コロナウイルス感染症定点医療機関数：44

・新型コロナウイルス感染症の届出基準：発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状を有する者について分離・同定による病原体の検出、病原体遺伝子の検出、抗原定性検査・抗原定量検査による抗原の検出などの検査方法により新型コロナウイルス感染症と診断した場合。又は発熱または呼吸器症状（軽症の場合を含む）を呈する者であって新型コロナウイルス感染症であることが確定した者と同居している者であり医師が総合的に診断した場合。

●重症者数・入院者数等

	重症者数 (各週末時点)	新規 入院者数	入院患者数 (各週末時点)	検査数
第42週 10/16～10/22	2	17	33	3,962
第43週 10/23～10/29	1	15	32	4,065
第44週 10/30～11/5	5	12	32	3,903
第45週 11/6～11/12	4	11	29	3,832
第46週 11/13～11/19	5	9	27	3,311

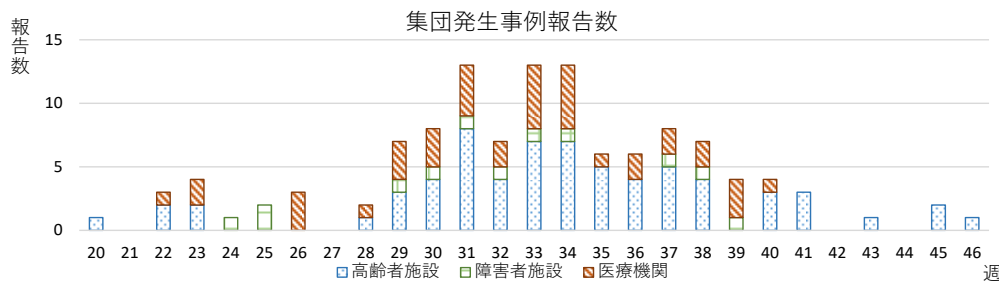
・「検査数」は、外来対応医療機関で実施したPCR及び抗原検査数です。

・11月22日13時時点で集計していますので、国の公表数と異なる場合があります。

・掲載数は、遅れて報告されたり修正されたりする場合がありますため、暫定値となっています。

●集団発生事例報告数（施設種別）

	高齢者施設	障害者施設	医療機関	計
第42週 10/16～10/22	0	0	0	0
第43週 10/23～10/29	1	0	0	1
第44週 10/30～11/5	0	0	0	0
第45週 11/6～11/12	2	0	0	2
第46週 11/13～11/19	1	0	0	1



- ・データは報告数集計として公開するものであり、後日修正される場合があります。
- ・集団発生とは、施設等から福祉保健所等に集団発生の報告があった場合（10名以上または全利用者の半数以上発生した場合）です。

●予防方法

- *手洗い・消毒は感染予防に特に有効です。
- *密閉・密集・密接の回避と家やオフィスなどの換気を十分にしましょう。
- *医療機関受信時や混雑した電車やバスに乗車する時など、効果的な場面でのマスク着用をお願いします。

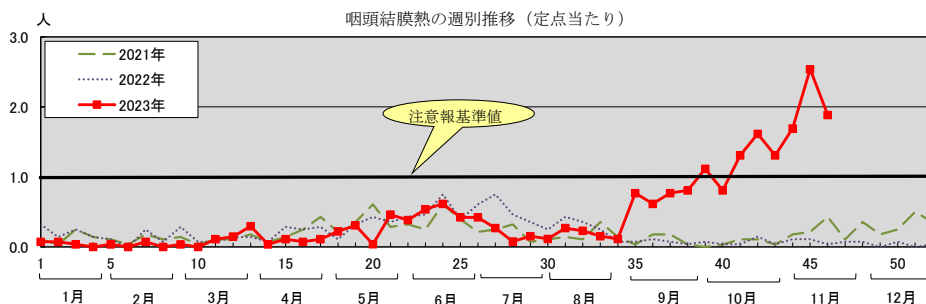
●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過（発症日を0日目とカウント）し、かつ、症状が軽快した後1日を経過（軽快した日を0日目とカウント）するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。

咽頭結膜熱

咽頭結膜熱は発熱・咽頭炎及び結膜炎を主症状とするアデノウイルスによる急性の感染症です。定点医療機関からのホット情報でもアデノウイルスを原因とする感染症の報告が多いので、注意が必要です。

潜伏期は5～7日で、症状は発熱、咽頭炎（咽頭発赤、咽頭痛）、結膜炎が三大主症状です。プールを介して流行することが多いことから、「プール熱」とも呼ばれています。



●予防方法

- *手洗い・うがいが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- *タオル・コップ等の共用、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。
- *回復後にも2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、特に、外出後、食事の前、トイレの後の手洗いを徹底しましょう。

●学校感染症

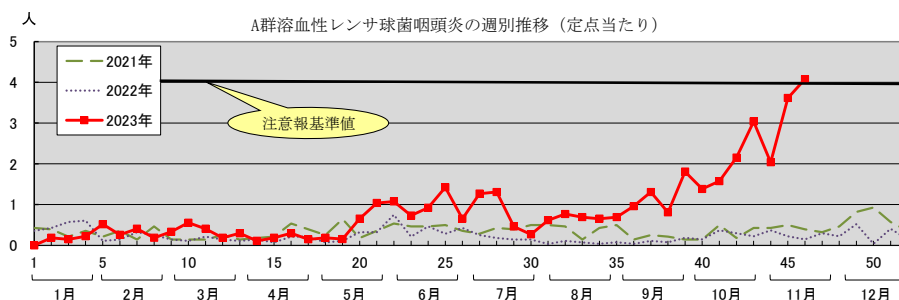
学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「主要症状が消失した後2日を経過するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでないとして規定されています。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

この病気は A 群レンサ球菌による上気道感染症です。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは細菌が付着した手で口や鼻に触れる「接触感染」が主な感染経路になります。

典型的な症状は、2～5 日の潜伏期を経て、突然 38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌などがみられます。1 週間以内に症状は改善しますが、まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる全身症状を呈することがあります。



● 予防方法

*患者との濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットを心掛けましょう。

● 学校感染症

学校保健安全法(同法施行規則第 19 条)では欠席者が多くなり、授業などに支障をきたしそうな場合など、「学校長が学校医と相談をして第 3 種学校感染症としての扱いをすることがあり得る病気」となっています。

ダニの感染症(SFTS・日本紅斑熱・つつが虫病)

「日本紅斑熱」や「SFTS (重症熱性血小板減少症候群)」は、屋外に生息する比較的大型(吸血前で 3～4mm)の「マダニ」が媒介する感染症です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。この時期は、人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります。(全てのマダニが病原体を持っているわけではありません)。

また、「ツツガムシ」に咬まれることによって感染する「つつが虫病」にも注意が必要です。高知県では、毎年秋から冬にかけて多く報告されており、ダニの一種である「ツツガムシの幼虫(0.2mm)」が媒介する感染症です。(マダニ同様全てのツツガムシが病原体を持っているわけではありません)。

第 46 週は、中央東から「つつが虫病」の発生届が 2 例あったので、注意してください。

● 予防方法

*マダニやツツガムシに「咬まれないようにする」ことが予防策になります。

*野山や畑などに出る時には、長袖・長ズボンで肌の露出を避けましょう。

*ツツガムシには、虫除け剤(有効成分:ディート)も有効です。

● 発熱等の症状が出た場合

*野山に入って数日～数週間経過した後、発熱等の症状が出た場合は、医療機関を受診してください。

*受診の際は、発症前に野山に立ち立ったこと(ダニに咬まれた可能性)を伝えてください。

● 参考

*重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に関する Q&A (厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html

*高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
4 類	つつが虫病	1	6	50 歳代 男性	中央東
		1		70 歳代 女性	
5 類	播種性クリプトコックス症	1	58	80 歳代 女性	高知市
	梅 毒	1		30 歳代 男性	
		1		30 歳代 女性	
		1		60 歳代 男性	

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
46	手足口病	発疹	9	女	須崎	Human herpes virus 7
46	-	39℃,鼻汁,右耳下腺下部の腫れ	11	女	須崎	Human herpes virus 7
46	インフルエンザ	38℃,咳嗽,倦怠感	15	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
46	インフルエンザ	40℃,関節痛,頭痛,咽頭痛,鼻汁	13	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
46	新型コロナウイルス感染症	39℃,頭痛,咽頭痛,寒気	13	男	須崎	SARS-CoV-2(EG.1)

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
45	新型コロナウイルス感染症	-	2	男	幡多	SARS-CoV-2(EG.5)

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	高知大学医学部附属病院小児科	アデノウイルス腸炎 1 例 (3 歳男) hMPV 肺炎 1 例 (5 歳男)
	早明浦病院小児科	インフルエンザ A 型 1 例 (4 歳) COVID-19 1 例 (1 歳) 感染性胃腸炎引き続き流行中
	JA 高知病院小児科	マイコプラズマ 2 例 溶連菌性咽頭炎 3 例 手足口病 2 例 水痘 1 例 アデノウイルス咽頭炎 15 例 インフルエンザ A 型 39 例
	野市中央病院小児科	インフルエンザ A 型 2 例 (11 歳女: ワクチン未接種、12 歳男: ワクチン 1 回接種済)
高知市	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス咽頭炎 14 例 インフルエンザ A 型 44 例 溶連菌感染症 24 例 COVID-19 1 例
	三愛病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1 例 (3 歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症 2 例 ヘルパンギーナ 3 例 手足口病 2 例 インフルエンザ A 型 36 例 COVID-19 0 例
	ふないキッズクリニック	アデノウイルス咽頭炎 10 例 (4 か月男、1 歳男女、2 歳男 3 人、2 歳女、4 歳男、4 歳女、5 歳女)
	細木病院小児科	アデノウイルス感染症 1 例 (3 歳男) アデノウイルス胃腸炎 1 例 (4 歳女) 溶連菌感染症 25 例 インフルエンザ A 型 52 例

保健所	医療機関	情報
中央西	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎 2 例 (2 歳女、3 歳女)
須崎	もりはた小児科	インフルエンザ A 型 25 例 COVID-19 2 例 RS ウイルス 1 例 アデノウイルス感染症の流行続く 45w カンピロバクター腸炎 1 例 (11 歳女)
幡多	こいけクリニック	hMPV 肺炎 2 例 (1 歳女、2 歳女)
	さたけ小児科	インフルエンザ A 型 98 例 hMPV 1 例 (3 歳男) アデノウイルス 1 例 (5 歳男)

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階

TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

※この情報に記載のデータは 2023 年 11 月 20 日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合は、週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報 疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(55定点医療機関)

第46週 令和5年11月13日(月)～令和5年11月19日(日)

高知県衛生環境研究所

定点名 (定点数)	保健所 疾病名	高知県						計	前週	全国(45週)	高知県(46週末累計) R5/1/2～R5/11/19	全国(45週末累計) R5/1/2～R5/11/12
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
インフルエンザ (COVID-19(4))	インフルエンザ	83	121	301	128	43	263	939 (21.34)	980 (22.27)	85,766 (17.35)	11,788 (267.91)	1,395,572 (283.02)
	新型コロナウイルス感染症		13	12	4	20	4	53 (1.20)	76 (1.73)	9,941 (2.01)	11,254 (255.77)	1,247,999 (253.09)
小児科 (26)	咽頭結核熱		19	21		5	4	49 (1.88)	66 (2.54)	10,173 (3.23)	554 (21.31)	104,249 (33.20)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		8	71	5	6	16	106 (4.08)	94 (3.62)	10,523 (3.34)	1,065 (40.96)	171,284 (54.55)
	感染性胃腸炎	2	10	42		2	9	65 (2.50)	57 (2.19)	11,671 (3.71)	3,729 (143.42)	644,862 (205.37)
	水痘		1	7		1		9 (0.35)	3 (0.12)	427 (0.14)	154 (5.92)	12,984 (4.14)
	手足口病	10		6	3	1		20 (0.77)	14 (0.54)	2,301 (0.73)	779 (29.96)	89,225 (28.42)
	伝染性紅斑							()	()	32 (0.01)	21 (0.81)	1,927 (0.61)
	突発性発疹		2	5		1		8 (0.31)	5 (0.19)	762 (0.24)	315 (12.12)	36,217 (11.53)
	ヘルパンギーナ			11				11 (0.42)	10 (0.38)	377 (0.12)	1,162 (44.69)	193,277 (61.55)
	流行性耳下腺炎							()	()	139 (0.04)	20 (0.77)	6,229 (1.98)
	RSウイルス感染症					1		1 (0.04)	1 (0.04)	205 (0.07)	1,276 (49.08)	144,280 (45.95)
眼科(3)	急性出血性結膜炎							()	()	5 (0.01)	()	364 (0.52)
	流行性角結膜炎			2				2 (0.67)	2 (0.67)	644 (0.92)	16 (5.33)	13,402 (19.31)
基幹 (8)	細菌性髄膜炎							()	()	9 (0.02)	5 (0.63)	353 (0.74)
	無菌性髄膜炎							()	()	10 (0.02)	7 (0.88)	602 (1.26)
	マイコプラズマ肺炎			1				1 (0.13)	()	34 (0.07)	24 (3.00)	804 (1.68)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	1 ()	()	22 (0.05)
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	1 ()	7 (0.88)	132 (0.28)
計	95	174	479	140	80	296	1,264		133,021	32,176	4,063,784	
小児科定点当たり人数	(26.75)	(20.07)	(40.48)	(37.00)	(24.25)	(39.18)	(32.89)			(872.72)		
前週 (小児科定点当たり人数)	(24.75)	(25.40)	(39.47)	(34.00)	(34.00)	(36.63)		1,308 (33.62)				

注 () は定点当たり人数。

高知県感染症情報(55定点医療機関) 定点当たり人数

第46週

定点名 (定点数)	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(45週)	高知県(46週末累計) R5/1/2～R5/11/19	全国(45週末累計) R5/1/2～R5/11/12
インフルエンザ (COVID-19(4))	インフルエンザ	20.75	12.10	21.50	32.00	10.75	32.88	21.34	22.27	17.35	267.91	283.02
	新型コロナウイルス感染症		1.30	0.86	1.00	5.00	0.50	1.20	1.73	2.01	255.77	253.09
小児科 (26)	咽頭結核熱		3.17	2.33		2.50	0.80	1.88	2.54	3.23	21.31	33.20
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.33	7.89	2.50	3.00	3.20	4.08	3.62	3.34	40.96	54.55
	感染性胃腸炎	1.00	1.67	4.67		1.00	1.80	2.50	2.19	3.71	143.42	205.37
	水痘		0.17	0.78		0.50		0.35	0.12	0.14	5.92	4.14
	手足口病	5.00		0.67	1.50	0.50		0.77	0.54	0.73	29.96	28.42
	伝染性紅斑									0.01	0.81	0.61
	突発性発疹		0.33	0.56		0.50		0.31	0.19	0.24	12.12	11.53
	ヘルパンギーナ			1.22				0.42	0.38	0.12	44.69	61.55
	流行性耳下腺炎									0.04	0.77	1.98
	RSウイルス感染症					0.50		0.04	0.04	0.07	49.08	45.95
眼科(3)	急性出血性結膜炎									0.01		0.52
	流行性角結膜炎			2.00				0.67	0.67	0.92	5.33	19.31
基幹 (8)	細菌性髄膜炎									0.02	0.63	0.74
	無菌性髄膜炎									0.02	0.88	1.26
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.13		0.07	3.00	1.68
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)											0.05
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)										0.88	0.28
計 (小児科定点当たり人数)	26.75	20.07	40.48	37.00	24.25	39.18	32.89			872.72		
前週 (小児科定点当たり人数)	24.75	25.40	39.47	34.00	34.00	36.63		33.62				

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2023年 第46週)

